

早期景気観測調査

および付帯調査

【2-3月期 調査結果概要報告書】

平成24年4月



甲府商工会議所

◆調査要領

1. 調査の目的： 山梨県内で最も速報性の高い『街角の景況感』を把握する調査として中小企業の明日の経営活動に資する。
2. 調査実施機関： 甲府商工会議所
3. 調査実施時期： 平成24年3月15日(木)～30日(金)
4. 調査対象： 当所会員 166事業所
5. 調査方法： ファクシミリによるアンケート方式
6. 回収数： 122 (付帯調査：103)
7. 回収率： 73.5%
8. 特記事項： 原則、小数点以下第二位で四捨五入

◆結果概要

【2 - 3月期の動き】

業況DIは、依然として足踏み状態

昨年の4 - 5月期より堅調な回復傾向が続いていた県内景気は、円高や国際競争の激化・景気低迷による消費者マインドの停滞などにより前期より陰りが見えはじめ、今期についても前回とほぼ横ばいの動きとなった。

製造業は、円高や原材料の高騰、価格競争激化などにより、大きく落ち込んだ。小売業も、厳冬による衣料に動きがあったものの先行き不安に伴う消費意欲の減退により業況が悪化しており、建設業についても、公共工事の削減、民需の低迷により再び厳しい経営環境におかれている。

一方、サービスについては新年度を前に購買意欲の増加やホテル・旅館などが好調で、改善傾向にある。また、卸売業については3期連続で改善傾向にあるが、採算・仕入などマイナス要因も多く次期については楽観できない状況である。

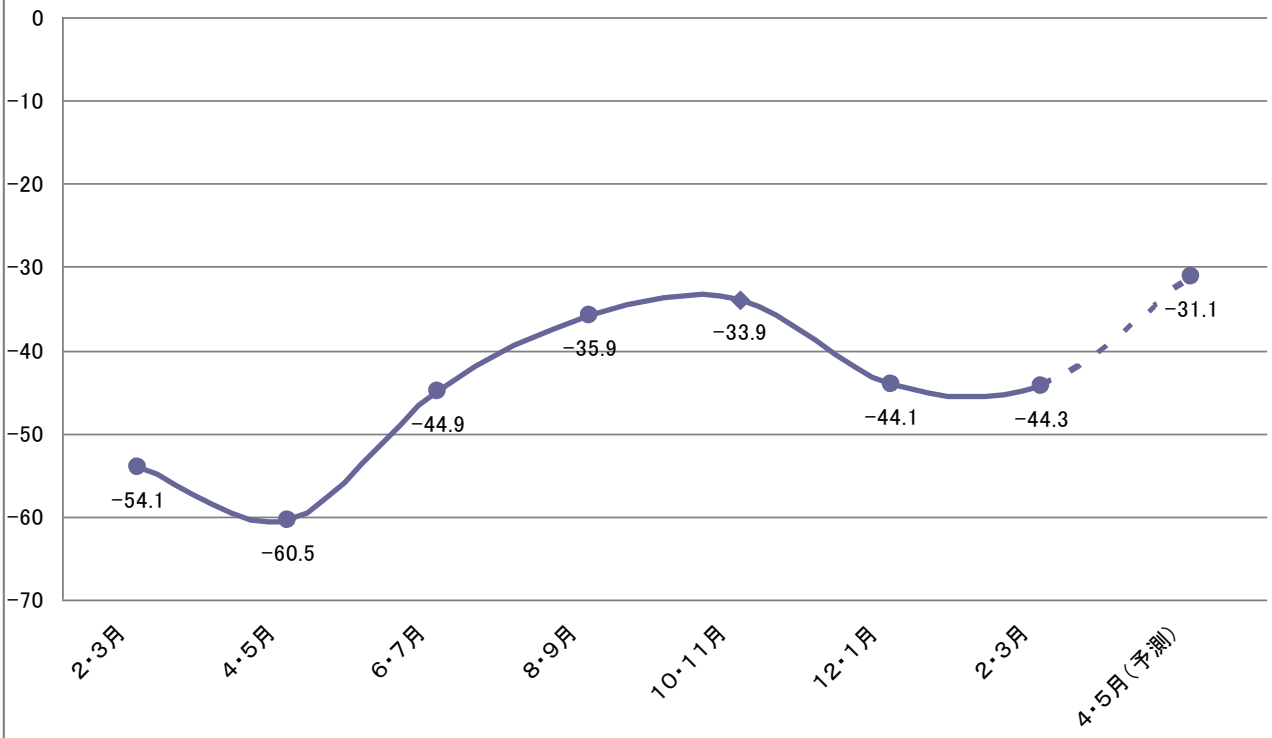
今後の見通しとしては、観光などの業種による一部改善傾向が見込まれるが、牽引役と呼べるような業種が見当たらず、先行き不透明感は強い。さらに円高などによる海外動向の悪化懸念や、原油高騰、消費マインドの冷え込みなど不安材料も多く、また中小企業にとって深刻な問題となる電力料金の値上げが予定されており、引き続き厳しい状況が続くことが予測される。

【付帯調査（消費税の増税について）】

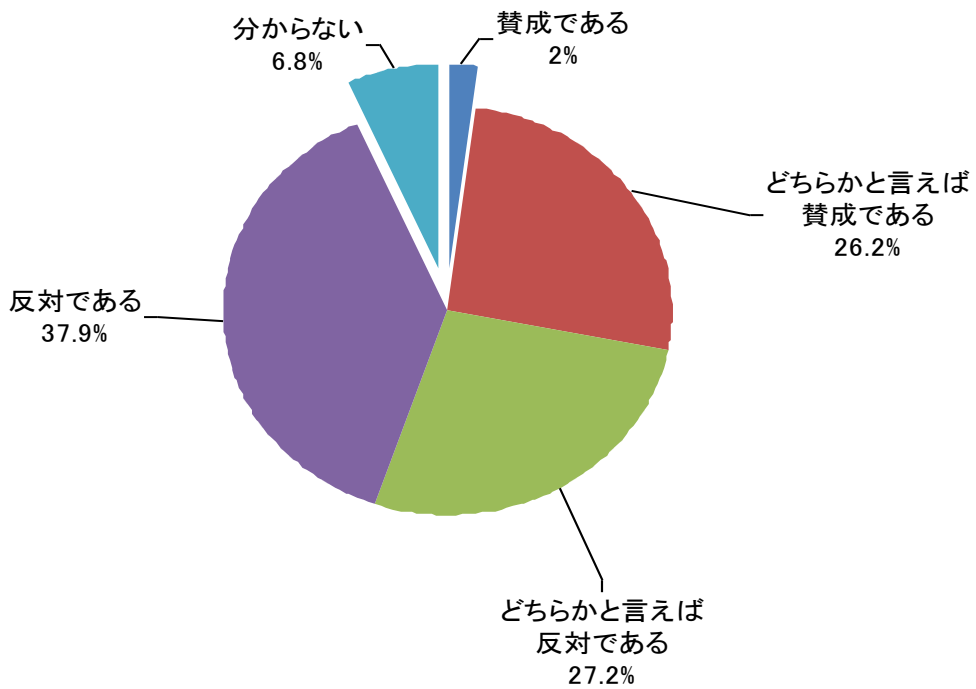
消費税増税に、65%が反対

消費税増税について、県内事業所に聞いたところ、「反対である」との回答が37.9%、「どちらかと言えば反対である」との回答が「27.2%」、両者合わせると「65.1%」となり、6割を超えた。

業況DIの推移


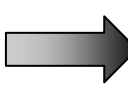



消費税の増税について



◆全業種・業種別詳細


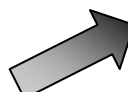
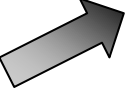
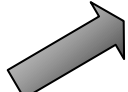



◆指標の見方

前回D I に比べて (先行は今回実績値に比べて)		
好転	不変	悪化
		
D I 値	D I 値	D I 値

※ D I 値 (景況判断指数) について

D I 値は、売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表す。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示す。従って、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、強気・弱気などの景気感の相対的な広がりを意味する。

◆全業種総合

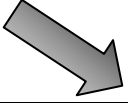
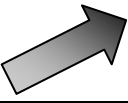
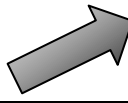
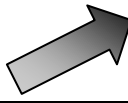
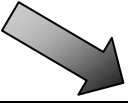
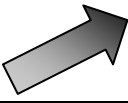
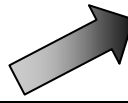
業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲44.3	▲31.1	▲21.3	▲37.7	▲41.8	4.9	▲0.8

2-3月期の全産業の業況D I は、**▲44.3** (前期比-0.2ポイント) となり、前回とほぼ横ばいの動きとなった。売上・採算D I については回復傾向にあり、従業員・金融貸出しD I についても小幅ながら改善している。一方、仕入単価は改善した前期から悪化に転じている。

先行きに関しては前期に引き続き改善を見込んでいるが、牽引役となる業種が見当たらず、先行きへの不透明感が強い。

◆ 業種別


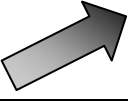
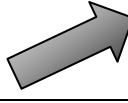
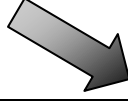
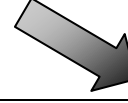
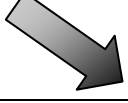
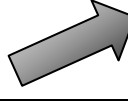
製造業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 4 2 . 4	▲ 3 0 . 3	▲ 3 0 . 3	▲ 2 4 . 2	▲ 4 2 . 4	3 . 0	▲ 6 . 1

工業製品など一部好調なものもあったが、全体として業況DⅠは前期の改善から一転、大幅な悪化となった。売上・金融貸出しDⅠは小幅に改善しており、採算・従業員DⅠについても前期に引き続き改善傾向にある。一方、仕入単価DⅠは二期連続悪化している。

業況DⅠに関する今後の見通しについては、改善が予想されているが円高による輸出環境の悪化や原材料の高騰など先行きは厳しい。

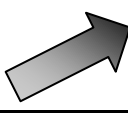
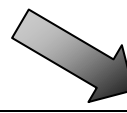
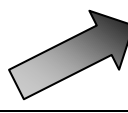
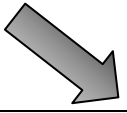
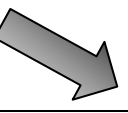
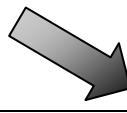
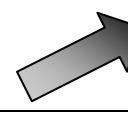
建設業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲ 6 3 . 2	▲ 4 7 . 4	▲ 4 7 . 4	▲ 6 3 . 2	▲ 4 2 . 1	0 . 0	▲ 5 . 3

公共工事の減少などによるマイナス要因が多く、業況DⅠは前期に引き続き、大幅な悪化となった。売上は一転して改善傾向となったが採算・仕入単価・従業員DⅠはいずれも継続して悪化している。

業況DⅠに関する今後の見通しについては、前期に引き続き改善が予想されるものの、依然として不透明な状況が続くことが予想される。

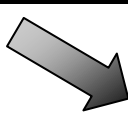
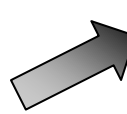
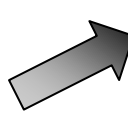
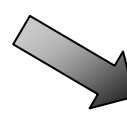
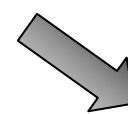
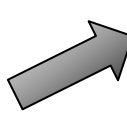
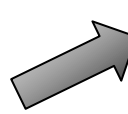
卸売業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲15.0	▲25.0	5.0	▲30.0	▲45.0	0.0	15.0

業況D Iは鈍化したものの食品などが牽引役となり、3期連続の改善となっている。売上も前期並みの改善となっているが、採算・仕入単価・従業員D Iは一転悪化に転じた。

業況D Iに関する今後の見通しについては、来期は若干の悪化が予想される。

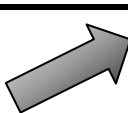
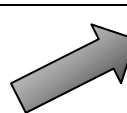
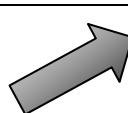
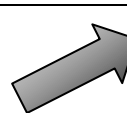
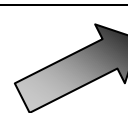
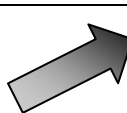
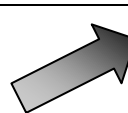
小売業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲60.0	▲40.0	▲23.3	▲46.7	▲33.3	10.0	0.0

業況D Iは趣味など一部の小売業で改善したものの、全体としては3期連続の悪化となった。売上・金融貸出D Iは若干改善したものの、採算・仕入単価D Iは悪化した。

業況D Iに関する今後の見通しについては、小幅な改善を予想しているが、景気低迷などにより消費意欲も停滞しており、厳しい業況が続く可能性が高い。

サービス業

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						
▲35.0	▲10.0	▲5.0	▲30.0	▲50.0	10.0	▲5.0

業況D Iは悪化傾向から一転して大幅な改善となった。売上・採算・仕入単価・従業員・金融貸出D Iなど全ての項目で改善しているおり、特に売上D Iの改善が高い。

業況D Iに関する今後の見通しについても、観光業などは増幅を見込めるシーズンを迎えるため小幅ながらも改善継続が予想されている。

◆ 業種別詳細

製造業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（家具）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

製造業（工業製品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

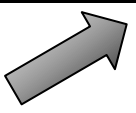
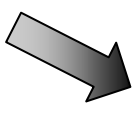
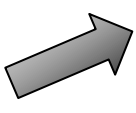
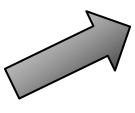
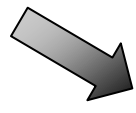
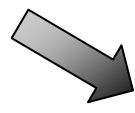
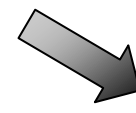
製造業（宝飾）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

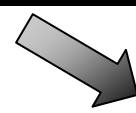
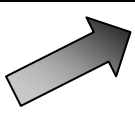
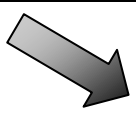
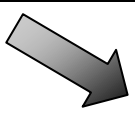
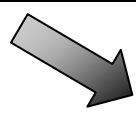
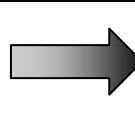
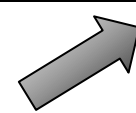
製造業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

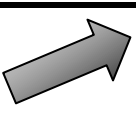
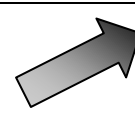
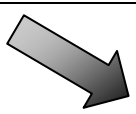
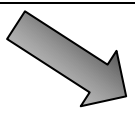
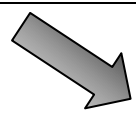
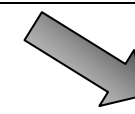
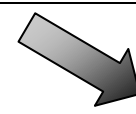
建設業（建築）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

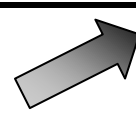
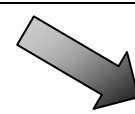
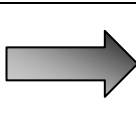
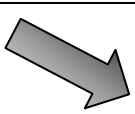
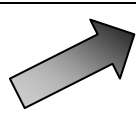
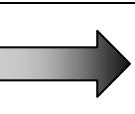
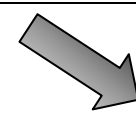
建設業（土木）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

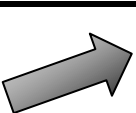
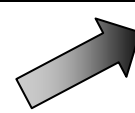
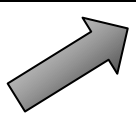
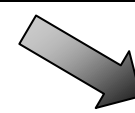
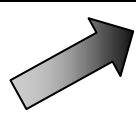
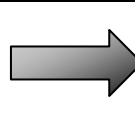
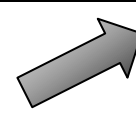
建設業（鉄鋼）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

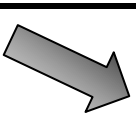
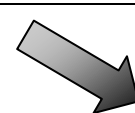
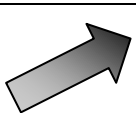
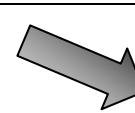
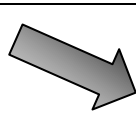
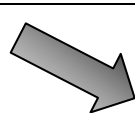
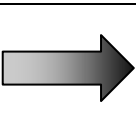
卸売業（食品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

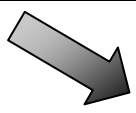
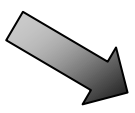
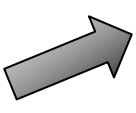
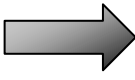
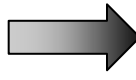

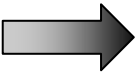
卸売業（繊維）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

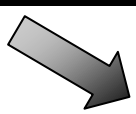
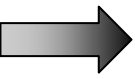
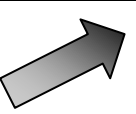
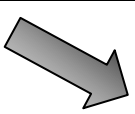
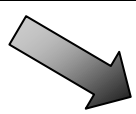
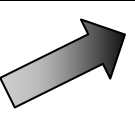
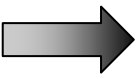
卸売業（その他）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

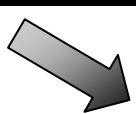
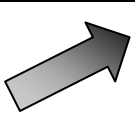
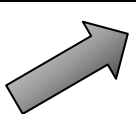
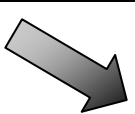
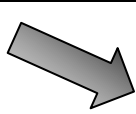
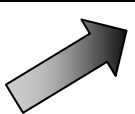
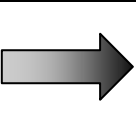
小売業（大型店）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

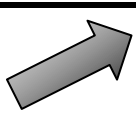
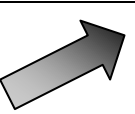
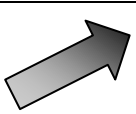
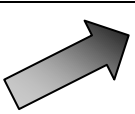
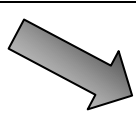
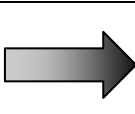
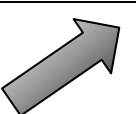
小売業（食料品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

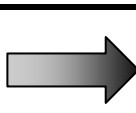
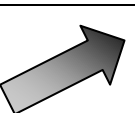
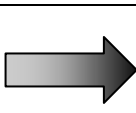
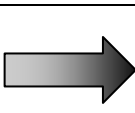
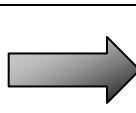
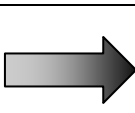
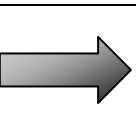
小売業（事務用品）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（趣味）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

小売業（家電）

業況	業況（先行）	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し
						

サービス (ホテル・旅館)

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業 (観光)

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

サービス業 (飲食その他)

業況	業況 (先行)	売上	採算	仕入単価	従業員	金融貸出し

➤ 中小企業の声

製造業（食品）

- ・石油類の値上がり分が全て自社負担となる。
- ・昨年3月11日以降、あまり変化が見られないということは景況が未だ良い環境になっていないということになる。
- ・電気料金の値上げが課題。

製造業（家具）

- ・原油の値上がりにより諸資材の高騰、消費税、電気料、諸厚生費(厚生年金、健康保険等)の値上がりにより、景気全体が冷え込み、景気は必ず落ち込むだろうことが課題。また、当社にとって円安は利益の圧迫要因。
- ・電気料金の値上げは厳しい。

製造業（工業製品）

- ・東京電力(株)より4月から電気料金値上げする郵便が届きましたが一方的で納得できない。節電もしているのに。
- ・価格競争の激化による単価の下落。

卸売業（食品）

- ・従業員の高齢化。

卸売業（その他）

- ・原油価格の上昇による仕入単価の値上げに販売価格が追いついていかず採算が悪化している。
- ・GMSの売上減少。ガソリンの値上げによる経費と単価アップ。

小売業（大型店）

- ・昨年3月震災の影響で売上アップのため、今期は厳しいが、昨年不振であった衣料品が好調のため、多少はカバーできる見込み。
- ・お客様の中心地から効外への流出が目立ち入店客数の減少が顕著であり、いかにして集客を上げるか今後の課題である。
- ・衣料関係の伸びが好調。

小売業（事務用品）

- ・印章・需要の減少に直面し苦戦。

小売業（趣味）

- ・ネットの安売り
- ・@売上高2・3月水準について震災の影響(計画停電、被災店舗の営業休止)は繰入っていない。震災の影響を入れると増加になる。
- ・来店客数の減少。
- ・昨年の3月時の震災による影響が現在も続いている。当社は2月10日付でマツモトキヨシHDの一員となった。

小売業（家電）

- ・ガソリン単価上昇

サービス業（ホテル）

- ・2月3月の前半は大変落ち込んだが後半にやや取り戻して来た。しかしこのままだと心配。4月信玄公祭り、5月の連休に期待したい。我々小規模の旅館の皆さん大変だと言っている。
- ・コスト増大。

サービス業（観光）

- ・団体旅行の減少、一人暮らしの増加(高年化)＝個人旅行も将来減少。
- ・燃料仕入単価上昇によるコスト増。

サービス業（飲食その他）

- ・昨年3月は特別な状況であったので、昨年の3月よりましではあるが、年明け以降、景気は非常に悪い。
- ・とにかく「うなぎ」が高すぎて、大変。
- ・仕入単価の増の上昇が予想されるので、経営は厳しい。
- ・電気料金上昇及び石油化学資材等の仕入価格上昇が当面の課題。

建設業（建築）

- ・ 公共工事の減少と民間設備投資の減少が同時に進行している。
- ・ 受注減少

建設業（土木）

- ・ 物件が減少していくのにつれて、受注競争が激しく経営悪化を招いている。

建設業（鉄鋼）

- ・ 材料、燃料等の値上げがひびいている。
- ・ 小口工事は年度末で多少増えている。

